めざせ！ふじのくに　子ども観光大使

～2011年度　観光立国教育を推進するために、静岡県との協同開催で行います～

以下の３つの条件をクリアすると…

子ども観光大使に認定

子ども観光大使になるための３つの条件

①子ども観光大使の講座に３回以上参加する。
②観光はがき・観光俳句・観光動画のいずれかで、ふじのくにの良さを発信する。(はがきを事務局に投函)
③「子ども観光大使検定」に合格する。

子ども観光大使っていうのはね、富国有徳の理想郷「ふじのくに」の良さを体験し、発信できる子のことだよ。

©静岡県

年間予定（全10回）

6月18日（土）：柿田川の湧水の秘密を知ろう（清水町）
7月　3日（日）：中田島砂丘を学ぼう（西部地区）
8月27日（土）：ひものを作ろう（沼津市）
9月　3日（土）：静岡産の食材で創ろう（富士宮）
10月　9日（日）：自分が漉いた紙で手紙を書こう（富士）
11月20日（日）：城下町を探索しよう（浜松）
12月　3日（土）：みかん狩りをしよう（中部）
1月28日（土）：黒はんぺんを味わおう！（焼津）
2月12日（日）：お茶を満喫しよう（牧ノ原）
3月　3日（土）：プラスチックモデル博士になろう（静岡）

※予定は変更することがございます。
※詳しい日程・内容は各開催チラシをご覧ください。

■HPからのお申し込み
http://www.toss-smile.net/から『子ども観光大使』のページへ

■電話かメールで①～⑤をお伝え下さい。
①参加者の氏名（学年）②参加する日③電話番号④住所⑤保護者氏名
電話：０８０－６９５４－４２７５
メール：kodomo_wakuwaku@yahoo.co.jp
■保護者同伴が原則となります
■満員になった場合にはキャンセル待ちとなります

静岡をもっと勉強して、子ども観光大使になりたい

２０１１年2月２６日

子ども観光大使のプレ大会には、小学生３０名が参加。キャンセル待ちの大人気でした。
講座内容「①下駄のお話②げたづくり見学③下駄はき体験④観光はがきを書こう！」

下駄作りのお話を聞いたり、下駄を作っているところを見せてもらったよ！

水鳥正司さん（げたのみずとり）
http://geta.co.jp/
熱心でいい子どもたちでうれしかったです。

伝統的な下駄職人
西岡譲さん（西岡彦太郎商店）
日本の伝統のげたを喜んでくれて嬉しいです、白木の下駄は気持ちいいです。学校にも履いていってほしいです。

一本歯の下駄に初ちょうせん！

西岡さんに履き方を教えてもらいました。最初はこわごわ立ちましたが、つかまって歩くうちに一人でも歩けるようになりました。
一本しか歯が無くてもしっかり歩けることにびっくりしました。
コツは、傾けることだそうです。

みんなの感想

「はきごこちがいい！」「思ったよりはきやすい」
「夏とかはいてみたい。ほしい！」
「サンダルよりはきやすい」「気持ちいい」
「地面に着いた時に、足に力が入って面白い！」
「かるい」「かっこいい。ほしいな」

みんな夢中になって履いていました。
履いたとたんに、ぴょんぴょん飛び跳ねたり、お母さんに「欲しい」とせがんだり、あっという間に下駄のファンが増えたようです。
ジーンズなど子どもたちのかっこうにも良く合い、高学年の女の子も「おしゃれ」と喜んでいました。

下駄通じ 観光学ぶ
「子ども大使」養成へ 講座

県は26日、郷土の歴史や文化を学んで地域の魅力を発信する「ふじのくに子ども観光大使」育成に向けた講座を静岡市葵区で開いた。小学生約30人が参加した。
題材は静岡市の地場産業の下駄（げた）。子どもたちは職人から「登呂遺跡からも発掘された」「今はいろいろな種類の下駄が世界にも輸出されている」などと説明を受け、下駄の歴史や作り方などを学んだ。下駄を履いて履き心地も体験した。
同市立安西小4年の落合琴音さん（10）は「下駄を履く機会は少ないけれど、静岡の産業としてみんなに伝えたい。静岡をもっと勉強して観光大使になりたい」と話した。
子ども観光大使は、観光に対する興味や理解を早い時期から促し、地域の魅力を発信できる担い手の育成が狙い。2011年度から認定を実施する。今回はプレイベントとして、NPO法人の「子ども未来」、「TOSS学生インターンシップ」と共催した。

県は２６日、郷土の歴史や文化を学んで地域の魅力を発信する「ふじのくに子ども観光大使」育成に向けた講座を静岡市葵区で開いた。小学生約３０人が参加した。
題材は静岡市の地場産業の下駄（げた）。子どもたちは職人から「登呂遺跡からも発掘された」「今はいろいろな種類の下駄が世界にも輸出されている」などと説明を受け、下駄の歴史や作り方などを学んだ。下駄を履いて履き心地も体験した。
同市立安西小４年の落合琴音さん（１０）は
「下駄を履く機会は少ないけれど、静岡の産業としてみんなに伝えたい。静岡をもっと勉強して観光大使になりたい」
と話した。子ども観光大使は、観光に対する興味や理解を早い時期から促し、地域の魅力を発信できる担い手の育成が狙い。２０１１年度から認定を実施する。今回はプレイベントとして、ＮＰＯ法人の「子ども未来」、「ＴＯＳＳ学生インターンシップ」と共催した。